

日本生涯スポーツ学会第19回大会 開催要項

テーマ：地方と生涯スポーツ ～スポーツと自然環境～

期日：平成29年11月3日(祝・金)～4日(土)

会場：龍谷大学 瀬田学舎 8号館 (2日の理事会は草津市まちづくりセンター)

主催：日本生涯スポーツ学会

運営：日本生涯スポーツ学会第19回大会組織委員会

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、滋賀県レクリエーション協会、(順不同)
滋賀県体育協会(予定)、大津市スポーツ協会(予定) 笹川スポーツ財団(予定)

<大会日程>(案)

11月3日(祝・金)		11月4日(土)	
8:30	受付	7:00	モーニングセッション
9:30	開会式	9:00	研究発表(口頭)②
10:00	研究発表(口頭)①	11:00	セミナー
12:30	昼食	12:00	総会
13:30	基調講演	13:00	閉会式
14:45	シンポジウム		
16:30	ワークショップ		
17:15	研究発表(ポスター)		
18:00	懇親会		

※ 4日のモーニングセッションはトレイルラン等を予定しています。

※ 予定は変更される場合があります。

【大会実行委員会】

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科内

TEL:077-543-7639 (久保研究室) E-mail:ryukoku2017@soc.ryukoku.ac.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/第19回生涯スポーツ学会-1865637543648045>

【日本生涯スポーツ学会(事務局)】

〒731-0192 広島市安佐南区祇園 5-37-1 広島経済大学内

TEL/FAX:082-871-1641 (松本研究室) E-mail:jp.lifelong.sport@gmail.com

Home Page: <https://jsls.jp> Facebook: <https://www.facebook.com/lifelong.sports>

日本生涯スポーツ学会第 19 回大会 基調講演・シンポジウム 企画

地方と生涯スポーツ —日本の豊かな自然を利用する生涯スポーツ推進—

第 2 期スポーツ基本計画(答申)では、基本方針として「スポーツで社会を変える！」と掲げられており、ここでは「スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。」とされている。1964 年の東京五輪時に、スポーツ振興法が策定され、スポーツ施設や各種インフラが整備された。また、高度経済成長期には地方から都市部への人口流動があり、地方と都市部の社会資本格差が広がっている傾向にある。さらに 2020 年の東京五輪に向け、東京周辺ではスポーツに関わるインフラが再整備されている。「スポーツで未来をつくる！」というスポーツ基本計画の基本方針では、『「一億総スポーツ社会」を実現する。』とされており、東京などの都市部以外でも生涯スポーツの推進が望まれている。

地方では、地域の生活支援事業を目指す「コミュニティビジネス」が注目され、それぞれの地域において経済基盤の確立や文化の継承や創造を目指している。都市部には少ない資源としては自然環境があり、それらを利用するスポーツは登山、スキー、ボート、カヌーなどさまざま、年齢を問わず愛好者が多いのが現状である。四方を海に囲まれ、国土の約 7 割が森林で占められる日本では、地域によって利用できる自然環境は異なるが、それぞれの地域において地域独特の自然を利用することによって都市部とは異なる生涯スポーツ振興が推進されると考えられる。

山と湖に囲まれた自然豊かな滋賀県において、自然とスポーツについて考えていただく予定です。

基調講演 滋賀県の自然・文化とスポーツ

演者 嘉田由紀子 氏 (びわこ成蹊スポーツ大学学長、前滋賀県知事)
司会 田畑 泉 氏 (立命館大学 教授)

シンポジウム 生涯スポーツと自然を考える

パネリスト

- ① 教育の立場から
中野 博 氏 (びわこ成蹊スポーツ大学 教授)
- ② 地域の立場から
鵜瀬正樹 氏 (NPO 法人 瀬田漕艇倶楽部 専務理事)
- ③ 企業の立場から
山脇秀鍊 氏 (株式会社オーパルオプテックス 代表取締役)
久保和之 氏 (龍谷大学 准教授)

司会

大会企画 ワークショップ「ラジオ体操第3」

滋賀県多賀町の事例

健康なまちづくりプロジェクト(龍谷大学)

モーニングセッション「里山を走ろう！」

セミナー「第2期スポーツ基本計画について」(情報提供)

萩 裕美子 氏(東海大学)

【大会に関するお問い合わせ】

日本生涯スポーツ学会第 19 回大会事務局(龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科)

TEL:077-543-7639(久保研究室) E-mail:ryukoku2017@soc.ryukoku.ac.jp

大会参加および発表申込み

【送付書類および締め切り】

会 員

1. 大会参加のみ 大会参加申込書(別紙様式① : A 欄のみ)
2. 研究発表者 大会参加申込書(別紙様式① : A 欄と B 欄)
発表抄録(別紙様式②, 若手研究発表賞エントリー者は別紙様式②-Y)

※ 発表者, 共同研究者は, 「大会参加申込み(参加費2日分)」の手続きをお願い致します。

締め切り : 平成 29 年 9 月 15 日(金) ※ 会員の大会発表エントリー締め切り

※ 日本生涯スポーツ学会ホームページ(<https://jsls.jp>)の「学会大会」から、大会参加申込書(別紙様式①)および発表抄録(別紙様式②もしくは別紙様式②-Y)をダウンロードし、必要事項を記入の上、Word ファイル(Windows 版)にて大会事務局(下記)までメールに添付して送付ください。

なお、発表抄録は、結果までを明記したものに限り受領します。

※ 発表者は、学会員のみ可能です。年会費未納の方は発表できません。事前に納入ください。
(年会費振込先は、大会参加費納入先と異なります。学会ホームページをご確認ください。)

非会員(一般) 大会(聴講)参加を歓迎します。

1. 大会・懇親会参加 大会参加申込書(別紙様式①A 欄)に必要事項を記入の上、メール、ファックス等で、大会事務局(下記)にお申し込みください。
※大会参加、懇親会参加も含め事前にご連絡をお願いします。
(事前登録者には、大会抄録集を配布します。)

締め切り: 平成 29 年 9 月 30 日(土) ※ 非会員の大会参加申し込み締め切り

※ 当日参加受付も可能ですが、事前登録がない場合、大会抄録集がお渡しできないことがあります。

※送付先: 日本生涯スポーツ学会第 19 回大会事務局

FAX 専用 : 077-544-7254 (久保) E-mail : ryukoku2017@soc.ryukoku.ac.jp

【若手研究発表賞について】

日本生涯スポーツ学会会則第 3 条に定める目的を促進するために、昨年度の第 18 回大会に続き「若手研究発表賞」を授与します。対象者、エントリーの方法などは以下の通りです。若手学会員はじめ、研究室所属の大学院生の皆様などにお勧めいただき、ふるってエントリーいただきますようお願いいたします。

- ① 対象者 当該年度末(3 月 31 日)に 35 歳未満の者
- ② 対象発表 当該年度の学会大会における口頭発表
- ③ エントリー 応募は自薦とし、発表申込時に申込用紙(別紙様式①)にて申請してください。
- ④ 受賞者の決定 研究企画委員会によって選出された「若手研究発表賞選考委員会」の審査によって決定します。なお、賞は、発表者のみに授与します。
- ⑤ 表 彰 選考委員長が選考経過および選考理由を学会期間中に報告し、表彰します。
- ⑥ 副 賞 3 万円

なお、事前審査として発表抄録の評価を行います。若手研究発表賞にエントリーされる方は、「別紙様式②-Y」を使用して、発表抄録をご提出ください。また審査を円滑に行うため、対象者は当日に発表資料を必ず配布して下さい。

【大会参加費・懇親会費】

会 員	大会参加費	一般会員(院生を含む) 7,000 円 (※ 9月29日までの申込・振込は、5,000 円) 学部学生 2,000 円 (発表者・共同研究者) ※発表者・共同研究者以外の学部学生参加は無料 (但し、プログラム・アブストラクト集は含まれません。)
	懇親会費	一般会員 3,000 円 院生・学部生 1,000 円
非会員(一般)	大会参加費	2,000 円(1日のみ参加) 4,000 円(2日間参加)
	懇親会費	3,000 円 (※ 9月30日までにお申し込みください。)

【大会参加費・懇親会費の振込先】

1. 全国の郵便局からの振込先

記号 17850 番号 28678231 日本生涯スポーツ学会大会組織委員会

2. 郵便局以外からの金融機関からの振込先(インターネットバンキング含む)

ゆうちょ銀行(郵便局) 金融機関コード:9900
店番:788 預金種目:普通 店名:七八八(ナナハチハチ)店 口座番号:2867823

※ 懇親会に参加される方は懇親会費を合算してお振込み下さい。

※ 年会費の振込は、大会参加費振込先と異なります。

学会ホームページ(<https://jsls.p>)をご確認ください。

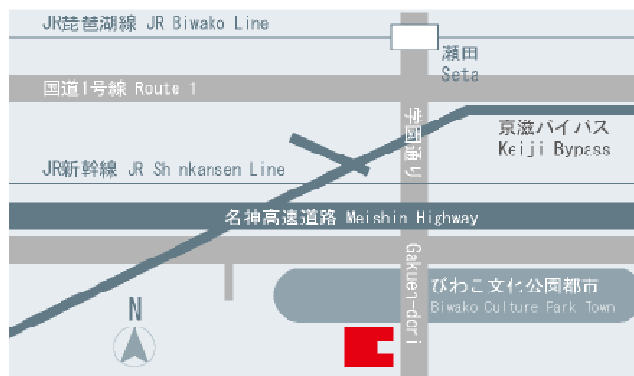
【その他】

1. 宿泊の手配は各自でお願い致します。大学へは JR 琵琶湖線沿線が利便性がよいです。紅葉時は京都を含め、宿がとりづらい状況になっていますので、早めのご予約をお勧めします。

2. 会場(大学)へのアクセス

龍谷大学 HP の瀬田キャンパス「交通アクセス」をご覧ください。

(http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_seto.html)



JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車

帝産バス(龍谷大学行き)約8分程度です。

徒歩の場合、瀬田駅から40分程度です。

タクシー利用は、瀬田駅から1,000円程度です。